

静岡市清水区感染症発生動向

2019年 45週 集計期間 11/4-10

	-6M	6-12M	1Y	2Y	3Y	4Y	5Y	6Y	7Y	8Y	9Y	10-14Y	15-19Y	20Y-
RS感染症			1				1			1				3
咽頭結膜熱					2		1							3
溶連菌感染症														
感染性胃腸炎		1	3	3	2		5	2	3	1	1	10		31
水痘											1	1		2
手足口病			2	2	1	1	2		1	1				10
伝染性紅斑								1						1
突発性発疹		1	1	1										3
百日咳														
ヘルパンギーナ														
流行性耳下腺炎														
麻疹														
風疹														
マイコプラズマ 髄膜炎 MCLS								1						1
小児科Flu			1		2		3	1	2		2	11		22
小児科定点総数 76 増減 -28 前週比 73.1% 定点当たり 12.7 病院:開業医 2:74 増減 0:-28														
内科Flu														5
インフルエンザ総数 27 増減 -17 前週比 61.4% 定点当たり 3 小児科:内科 22:5 増減 -17:0														

総数76、前週の73.1%と減少です。

首位は、感染性胃腸炎、前週比91.2%、定点当たり5.2と首位ですが少数です。

2位は、インフルエンザ、前週比56.4%、定点当たり3.7と、早くもほぼ半減です。

3位は、手足口病、前週比166%、定点当たり1.6と、また増加です。

以下は定点当たり1未満ですが、RS、咽頭結膜熱、突発性発疹3名づつが目立ちます。

水痘2名、伝染性紅斑1名、そしてマイコプラズマ、今週も1名報告で、流行中です。

内科も含むインフルエンザ、前週比61.4%、小児科は6、内科は1定点から報告です。

小児科はA型18名、B型1名！型不明3名、内科は、すべてA型です。

11/10小児科休日当番医は、来院数66名、インフルエンザA型5名、アデノ2名、RS2名、溶連菌1名とご報告をいただいています。

流行中のA型インフルエンザ、2009pdmのみに反応するキットで試してみると、高部東小、入江小、いずれも陽性に出ました。2009pdmなので、抗体を持っている確率が高く、早くも減少なのだと思います。今後、この2009pdmが流行の主体を維持すれば、小流行になると思います。年明け、H3が出てきて、そちらが、どーんと、大流行になるかどうか、B型も1名出ていて、今後は、なんとも予想できません。